



くまのみ通信

—中谷外科病院広報誌—

中谷外科病院の理念—患者様とともに歩む



第46号
2019年1月発行

発行元
医療法人吉備会
中谷外科病院
患者サービス向上委員会
委員長 中谷紳

〒706-0001
玉野市田井 3-1-20
TEL 0863-31-2323
FAX 0863-31-8486

ホームページ
<http://www.nakatani-hosp.jp>
Eメール
Goiken@nakatani-hosp.jp

外来診療時間
月～金 9:00 ～ 12:00
15:30 ～ 18:30
土 9:00 ～ 12:00

<中谷外科病院 基本方針>

- 1:常に患者様の立場に立ち、行動する。
- 1:消化器内視鏡、大腸肛門病の専門病院として最新・最善の医療を提供する。
- 1:多職種によるチーム医療の充実をはかる。
- 1:在宅復帰を支援し、地域に開かれた医療を行う。
- 1:職員同士の和を重視し、思いやりのある医療を実践する。

新年のご挨拶 『今、この瞬間に集中』

明けましておめでとうございます。
昨年は西日本豪雨はじめ全国で大きな災害があり、まさに試練の時でありました。新たな元号となる今年が平和で穏やかであるよう祈るばかりです。
災害からの復興を通して私たちはお互いに助けあうことの大切さを学びました。年頭にあたり、様々な人たちに支えられながら自分自身が生かされていることに感謝し、毎日を笑顔で過ごしていきたいと思います。「患者様とともに歩む」という当院理念を再確認し、「今この瞬間に集中すること」を本年のモットーとして、医療を通じて地域の皆様にお役に立てるよう職員一同精進して参ります。引き続きご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

平成31年1月吉日

中谷外科病院 院長 中谷 紳

2019年各部署目標

診療部

『今、この瞬間に集中する』

看護部

『“生き生き・はつらつ”看護をさせて頂く喜び!!』

薬剤部

『他部署との連携の向上』

放射線部

『親切な対応と丁寧な画像検査を行う』

栄養部

『食事内容の評価・改善』

リハビリ部

『ADLの共有』

事務部

『受付は病院の顔
笑顔と温かみのある対応』

地域連携室

『報連相をしっかり行う』

『院内勉強会』

★医療安全のとりくみ(救急カート)

日時:2018年10月24日 14:00～

講師:病棟看護師 大塚 恵美

当院には外来と病棟に各1台ずつ救急カートがあり、引き出し内での薬品や医療器材の配置を標準化し、認知負担を減らして効率よく間違わずに使用できるように保守点検しています。



★食事時の体位について

日時:2018年10月29日 14:00～

講師:病棟看護師 岩崎 恵美子



当院では摂食訓練を積極的に実施しています。

『口から食べる』当たり前の事のように、この行動は身体の全身の機能活性化にとっても重要な事です。

加齢や脳血管疾患により、この行動が困難になってきます。

当院では医師指示の下、看護師や栄養士、PT・OTでチームを組み訓練を行っています。岡大病院や他病院での研修を重ねたスタッフが患者の姿勢や飲み込みの状態を観察し、個別に援助できるよう頑張っています。“食事の時むせる”“咳が出る”“喉がつかえた様な感じ”等お気づきの事、心配な事があればお尋ねください。



★ADL(Activities of Daily Living:日常生活動作)評価について

日時:2018年12月26日 13:30～

講師:理学療法士 藤木 憲二



医療安全委員会からの勉強会として、リハビリ部よりADL評価についての説明を行いました。リハビリ部では、ADLの評価方法として**FIM (Functional Independence Measure:機能的自立度評価表)**を行っています。FIMについて、全職員の理解を深めてもらうことで、患者様のADL状況を共有していければと思います。また当院は現在電子カルテを活用しております。電子カルテのケアシートは他職種が閲覧することが多く、患者様のADLをより多くの職員に認識してもらえるよう、ここに**FIMの評価**を表示していく事にしました。

他職種間でADLの共通認識を持つことで、患者様に対して、安全で安心な入院環境を提供できるよう努めていきたいと思っています。



ようこそ！！研修医の先生

1か月間、中谷外科病院にて研修させていただきました。至らない点が多かったかと思いますが、スタッフの方々および地域の皆さんの温かさに支えられて診療させていただきました。深く御礼申し上げます。

玉野地域の健康を守るべく尽力されている中谷外科病院の一員として働く中で、人と人との良好なコミュニケーションが医療現場において最も重要であるということを改めて学ばさせていただきました。医療の専門家が進み、疾患で切り分けられがちな今日の風潮の中で、医療の原点である患者様の真の需要にこたえられる全人的な医療がなされていることに大変感銘を受けました。

私自身も今後研鑽をつみつつ、医療人としての人間力をさらに磨いてまいりたいと思います。短い期間ではありましたが、貴重な機会を与えてくださり、大変ありがとうございました。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



岡山労災病院 研修医
中村 小百合

起震車 体験

平成 30 年 10 月 30 日、中谷外科病院東駐車場に起震車がやってきました。『起震車』とは地震をシミュレーションするための振動装置が付いた車です。

病院職員、関連施設職員を対象に巨大地震を体験させていただきました。震度 6 弱や震度 7 など様々な震度をシュミレートして、激しい揺れに驚きながら、地震時何もできなくなる状態を体感しました。人命救助の難しさを改めて感じました。

(防火管理者 伊藤 弘司)



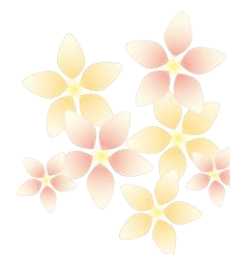
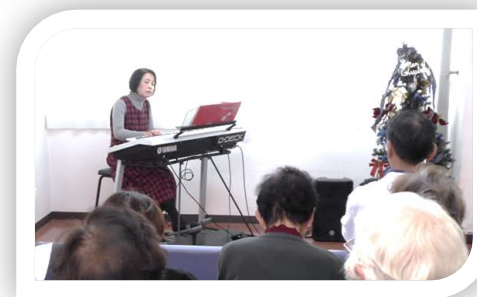
第3回 エレクトーンコンサート



12 月 18 日(火)13:30～ 当院リハビリ室でエレクトーンコンサートを開催しました。演奏者は藤原 恭子先生。

クリスマスソングや童謡、映画『007』のテーマ曲等、約 40 分間素敵な演奏で、患者様や近隣の方、スタッフ等約 40 名の観客に笑顔と癒し、感動を与えてくれました。またエレクトーンの音色にあわせた合唱もすばらしかったです。

藤原先生、素敵な時間をプレゼントいただき、ありがとうございました。
(医療相談員 山崎 早苗)



チャレンジワーク -UNO-

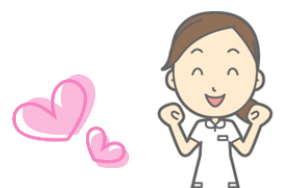
平成 30 年 11 月宇野中学校 2 年の女子生徒さん 2 人が職場体験に来られました。その彼女たちへのメッセージです。

お二人が目指す将来の職業を伺いました。「医療職」とははっきりおっしゃいました。

そのため仕事の部署は、薬剤部、リハビリ部、病棟看護部等にお願ひしました。仕事内容は患者さんのケア、そして電子カルテ入力等。

初めての体験に戸惑われた事が多かったと思いますが、しっかりチャレンジして頂きました。その都度「ありがとうございます。」と答えていただきました。その清々しい響きが、今も病院内に残っているような気がします。

初志貫徹してください。
みんなで応援しています。



看護師長 新田 照美

お薬のおはなし ～インフルエンザの薬について～

はじめてのインフルエンザ薬「タミフル」が世に出てもうすぐ 18 年になります。「タミフル」は1日2回内服するカプセルですが、その後に続き、1日2吸入を5日間続ける吸入薬「リレンザ」、1回点滴静注でよい薬「ラピアクタ」、1回8吸入でよい「イナビル」が発売され、選択の幅も広がってきました。そして、今シーズンからは1回内服するだけでよい薬「ソフルーザ」も多く使われています。用法や値段が異なるので、医師が患者さんの年齢や状態を見ながら選択します。「吸入は難しい」とか「のみ込むのが難しい」とか「安い方がよい」などの希望があれば、医師に伝えて選んでもらってください。

インフルエンザの薬を使うと、ほとんどの人は2日程度で熱が下がり楽になります。しかしウイルスはまだ残っているので、「しんどさ」はその後も数日続く方が多いようです。熱が下がってもできるだけ安静に過ごし、薬は医師の指示通り最後まで使いきって下さい。

「ソフルーザ」以外は予防(自費ですが)にも使えます。共倒れにならないために、看病する家族の方は予防投与を受けることをおすすめします。発病した方の受診時にご相談ください。

薬剤師 赤松 由紀子

今年のサンタさん・トナカイさんは
当院若手コンビでお届けしました



スタッフの独り言

中谷外科病院へ入職して 12 年が過ぎました。入職時 3 歳と 1 歳だった娘達も今は、高校生と中学生になりました。

去年は初めての受験を経験しました。娘から「看護師になろうかなあ」と聞かされた時、「えっ、あなたできる?」と聞き返し、返ってきた言葉は「うん。お母さんができているから私もできると思う。」

合格できるか不安でしたが、2月に合格をもらい、現在は2時間かけて学校へ通っています。宿題も多く、徹夜に近い日々ですが、娘から「大変じゃけど楽しいわ」と聞いた時にはちょっとほっとしました。これからまだまだ大変な時期もあると思いますが、母親として看護師先輩として見守っていけたらと思います。

娘のノートや教科書をみて、娘に負けまいよう新しい看護のあり方を吸収できるよう学ぶこの頃です。

看護師 藤原 佐千世